

すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報

第266号
2019年3月



一般社団法人
大学女性協会



特集 2019年度全国総会ご案内・新春のつどい「国内奨学金贈呈式」

会長挨拶「教育を通して平和を」 総会担当支部より……………	2	委員会報告～科学研究奨励、社会福祉、 国際ネットワーク、文化事業・収益事業 ……	8～9
全国総会・定時会員総会ご案内……………	3	東日本大震災災害地支援事業を終えて……………	10
国内奨学金贈呈式……………	4	全国の支部による奨学事業……………	11
奨学生の研究概要と将来の抱負……………	5～7	お知らせ・理事会から……………	12

全国総会・定時会員総会ご案内

2019年5月21日(火)～23日(木)

教育を通して平和を

JAUW 会長 鷲見八重子



2019年、新しい年が始まりました。皆さま、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、5月の静岡総会では上川陽子法務大臣から、男女共同参画社会の推進に向けて力強いメッセージを賜りました。山下いづみ支部長采配のもと、支部長会、懇

親会から総会、そして研修旅行まで和やかに進み、新しく選任された理事・監事、および委員会委員の皆さま、ならびに会員の方々のご尽力により、2018年度事業計画はここまで滞りなく行われてきました。

特に、4年ぶりとなる公開シンポジウムでは、日本社会の喫緊の課題「教育・ジェンダー・共生——誰ひとり取り残さない共生社会を創るために」をめぐり、高橋裕子津田塾大学学長の基調講演、そしてパネルディスカッションから、数々の貴重な提言をいただきました。さらに、参加者のご協力を得、楽しい支部交流の場ともなりました。加えて、支部交流としては、理事・監事有志により、栃木支部と秋田支部訪問がかない、有意義な交流の時をもてましたことを感謝しております。

また、文化事業委員会企画のコンサートも、初夏には伊能美智子会員の「OTOの世界」が好評を博し、秋の「日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念」コンサートでは、スウェーデン大使の暖かい応援スピーチに会場がわく嬉しい出来事もありました。

他団体との連携としては、内閣府・国連ウィメン日本協会とシンポジウムを共催。基調講演の角野栄子氏から「魔女の宅急便」のヒロイン、キキに託した思いをうかがい、光と闇の両方の世界を睥睨する「魔女」の立ち位置には、私たち自身の生き方、また女性団体としてのありかたのヒントがあるのではないかと感じ入りました。

さて一方、去年は自然災害が多く、晴れの岡山、広島にも大きな被害が出ました。政治・社会的には、日本も世界も混沌と無秩序の波間に漂っているような感があります。2019年、日本は、文字通り新しい年号となりますが、新年早々のアンケート調査によれば、未来はけっして楽観視できるものではないと、国民の多くが感じています。

そうした流れの中で、大学女性協会に課せられた使命は

何でしょうか。今年も、決められた4つの公益目的事業を計画的に継続していきますが、その際にも、時代の要請、社会の課題に応えるには大きな視野から物事をとらえ、しかし行動は、着実に、地に足をつけて進むことが求められていると思います。

具体的には、京都総会を経て、「教育・ジェンダー・共生」のテーマのもと、秋のセミナーへ向けての準備にかかります。みなさまのご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。また、7月末には、GWIの100周年ジュネーブ大会があります。GWIのテーマは「教育を通して平和を」(Peace through Education) ですから、私たち JAUW のテーマと重なり、学ぶことがたくさんあるでしょう。ぜひ、お誘ひ合わせてご参加ください。

新年のみなさまのご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

総会担当支部よりのお誘い 京都支部実行委員長 松田 栄子

新しい元号を迎えて、初めての全国総会を京都支部で開催することになり、支部一同、新たな気持ちで総会の準備に取り組んでまいりました。開催に際して、支部会員の気持ちがいへん前向きになり、共に力強く協力するという機会が持てたことは、嬉しいことでした。

総会会場の「ホテル日航プリンセス京都」は、1994年に平安建都1200年に際して建てられました。ヨーロッパスタイルのこじんまりと落ち着いた雰囲気のホテルで、市内の地の利の良い場所に位置しています。

1日目の懇親会では、世界的に活躍された後、現在は、長岡京室内アンサンブルの音楽監督をする一方、音楽教育にも力をつくされているヴァイオリニストの森悠子氏の演奏をお聴きいただきます。

2日目の講演会では、大蔵流狂言師の茂山千三郎氏に「日本人の笑い」についてお話していただきます。

講演後は、各支部に送った「支部活動を考える」というアンケートに基づき、焦点を絞った意見交換を本部とともに企画いたしました。

3日目の研修旅行では、石庭の龍安寺、ブライトンホテルでの昼食、京都御苑内にある工芸技術の粋を集めた迎賓館、山県有朋の別邸で七代目小川治兵衛の作庭である無鄰菴を巡っていただきます。歴史を感じさせる空気を味わっていただければ、幸いです。

皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

2019年度全国総会・第8回定時会員総会ご案内

2019年度全国総会を京都市で開催いたします。

1. 全国総会日程 会場：ホテル日航プリンセス京都
- 5月21日（火）支部長会 & 懇親会
【支部長会】 14：00～17：00（3F ヴィオラの間）
【懇親会】 18：00～20：30（3F ローズの間）
 （*ヴァイオリニスト 森 悠子氏）
- 5月22日（水）総会
【総会】 9：30～16：30（3F ローズの間）
 午前 定時総会
 午後 13：30～14：30 公開講演会
 （*大蔵流狂言師・茂山千三郎氏）
 意見交換「支部活動について考える」
 ～全支部へのアンケートをもとに～
- 5月23日（木）
【研修旅行】 9：00～16：40 龍安寺・迎賓館・無鄰菴

2. 参加費

懇親会参加費 8,000円
 総会費 3,000円 昼食費 3,500円
 研修旅行費 8,000円

3. 宿泊

- *ホテル日航プリンセス京都
 （申し込みは3月15日までにお願いします）
 変更・キャンセルは下記へお願いします
 FAX 075-351-3092
 e-mail keiko-matsuo@kdp.biglobe.ne.jp 松尾恵子
- *近くのホテル紹介
 ダイワロイネットホテル京都四条烏丸 ☎075-342-1166（徒歩2分）
 京王プレリアホテル ☎075-352-5111（徒歩3分）
 からすま京都ホテル ☎075-223-2333（徒歩3分）
- *他にも多数ございますので各自お申し込みください。

4. 申し込み方法

- ①別紙の申込書に必要事項を記入の上「支部提出用」は各支部長へ提出し、支部長は出席者を取りまとめ「支部出席まとめ用紙」にご記入の上、4月1日（月）までに実行委員長松田栄子にお送りください。
- ②参加費（総会費、昼食費、懇親会費、研修旅行費）の送金は**4月10日（水）**までに、郵便振替で下記の口座をお願いいたします。（*同封の振込票をご利用ください）
 振込票は郵便局備え付けのものもご利用できます。通信欄に必ず、ご参加項目、支部名を、ご記入ください。

ゆうちょ銀行

【振替口座】 記号 01050-2 番号 32038

加入者名：大学女性協会京都支部

- ③総会、昼食、懇親会、研修旅行のキャンセルは**4月30日（火）**までとします。ただし総会費3,000円は、日時に関係なく、返却できませんのでご了承ください。

*第8回定時会員総会開催通知は、議題を添えて4月25日に正会員の皆様に発送いたします。

*ご不明の点がございましたら、松田栄子までお問い合わせください。

実行委員長 松田栄子

Tel&Fax：075-701-9939

Eメール：eiko1030jp@yahoo.co.jp

★研修旅行のご案内

5月23日（木）研修旅行（49名迄、先着順）
 龍安寺、迎賓館（不可能な場合は、御所）、無鄰菴
 ブライトンホテルにて昼食、
 8：45 ホテル玄関集合
 16：40 JR 京都駅（八条口）解散

交通のご案内

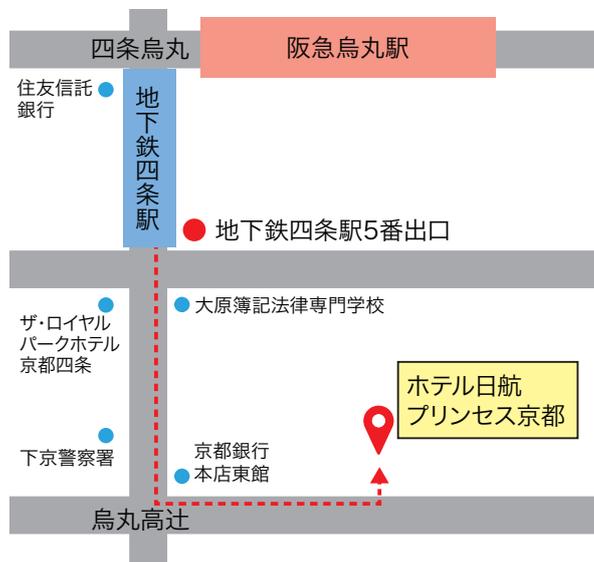
ホテル日航プリンセス京都
 〒600-8096 京都市下京区烏丸高辻東入る
 TEL：075-342-2111

* JR 京都駅から地下鉄2駅目

四条駅南改札5番出口徒歩3分

*5番出口階段にホテルの案内と地図がございます。

*阪急烏丸駅より徒歩5分



会員の皆様へのお願い

4月25日（木）「第8回定時会員総会開催通知」を「議決権行使書」とともに正会員の皆様に発送いたします。開催通知には予算及び決算報告、各議案が同封されていますのでご覧ください。定時会員総会は重要な総会ですので、正会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。欠席の場合は「議決権行使書」にご記入いただき、署名、捺印の上、5月10日（金）必着でご返送ください。

JAUW 新春のつどい 国内奨学金贈呈式

2019年1月12日（土）京王プラザホテル扇の間にて

第71回 一般奨学生・第28回 安井医学奨学生選考にあたって

国内奨学委員長 秋光 正子

大学女性協会国内奨学金は一般奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金の3部門からなり、一般奨学生と社会福祉奨学生の中から、女性、教育、国際関係分野の研究を行う学生一名をホームズ奨学生に選んでいます。

今年度は6月4日に合計236大学へ募集書類を送付、併せて6月15日にホームページからも募集を開始し、8月31日募集を締め切りました。全応募者数は58名でした。一般奨学生については応募数36名でしたが各支部の中で一次選考を行い、一般奨学生23名、安井医学奨学生11名の応募者が10月21日の本選考に残りました。

本選考は会長、担当理事ご出席のもと国内奨学委員14名によって厳正、公平に行われました。その結果ホームズ奨学生として宮崎彩さん、一般奨学生として赤瀬歩さん、澳津志帆さん、加賀谷昭子さん、陳璐さん、森木ひかるさん、安井医学奨学生として田中えみさんが候補者として選ばれ、11月10日の理事会において正式に承認されました。今年度のホームズ奨学生は一般奨学生の中から選ばれております。本選考では、応募学生の研究内容や研究への姿勢と共に、関連した分野への啓発活動など社会的な活動姿勢にも視点が置かれ、大学女性協会ならではの選考であったと思います。奨学生の皆様にはこれからのますますのご発展を、そして将来闊達な女性リーダーとしての役割を果たして下さることを期待しております。

第47回 社会福祉奨学生選考にあたって

社会福祉委員長 桑折 美子

今年度の募集には、大学院生3名、学部生8名の応募をいただきました。10月13日、鷺見会長出席のもとに選考委員会を開催。多岐にわたる研究内容、専攻分野に加え、幅広い年齢層や社会経験も多い応募者の中から、公正かつ厳正な審議を行った結果、大学院生1名、学部生2名の候補者を選出し、11月10日の理事会承認を経て2018年度社会福祉奨学生として決定いたしました。

加藤優さんは、環境音認知についてこれまで学習する機会がほとんどなかった聴覚障害児が楽しく学べる「環境音学習システム」の完成と実用化に向けて、さらに「ろう教育の教材開発」も視野に入れた研究が続けられています。

稲岡紗也さんは、ご自身の事故の経験から「今まで見ていなかった社会的平等」の問題に気づかれ、復学後は「教育学」を通して「社会的弱者のいない社会の実現」に貢献したいと、日々勉学に取り組まれています。

藤吉乙羽さんは、将来ピアノ演奏家として、また点字楽譜の研究・普及を通して教育者としても活動したいと、国内外の演奏経験や講演を重ねながら日々研鑽を積み重ねています。

このように、今年度も重い障害を乗り越え厳しい経験を糧に、確固たる意志を持ち研究や学びに邁進されている方々に奨学金を贈ることができました。これからもそれぞれの分野で、挑戦者としてご活躍されますことを祈念しております。

2019年新春のつどいに参加して

社会福祉委員会 静岡支部 林 幸子

新春のつどいは、1月12日（土）京王プラザホテルで開催され、全国の支部から奨学生を含む90名の参加がありました。

会場には、収益事業委員会主催のバザーコーナーがあり、例年の如くお菓子類や洋服、手作り品等所狭しと並べられ多くの会員で賑わい、楽しそうに買い求めていました。11時、鷺見会長の挨拶で始まり

第1部は、2018年度国内奨学金の贈呈式です。出席者9名の奨学生のスピーチは内容が充実したもので、そのレベルは年々上がってきているように思いました。私は奨学生の真摯な研究に対する姿勢に感動し、会場からも大きな拍手がありました。

第2部は会食と懇談で、青木怜子元会長の乾杯で始まり、続いて全国の支部長から近況報告があり、テーブルを囲んで楽しい時間は過ぎていきました。最後に2019年度全国総会開催支部・京都支部長のご挨拶があり、和やかな雰囲気の中で2019年新春の集いは終わりました。



研究概要と将来の抱負

ホームズ奨学生

文化財保全をめぐる制度と開発の相克 国際機関、国家、ローカルアクターの役割について

東京大学大学院 総合文化研究科
人間の安全保障プログラム 博士課程3年

宮崎 彩



文化財保護は二つの世界大戦を経て国際社会の責任として認識されるようになり、ユネスコなどによる国際的な制度の中でも実践されるようになった。文化財をめぐる問題は戦争・テロ、温暖化など多様だが、中でも開発は20世紀から変わらず大きな脅威として存在している。ユネスコの世界遺産条約体制が文化財保護の概念にもたらした変化は大きい反面、これらの問題による破壊は依然として進行しているのが現状である。国際制度の限界を補いながら実際の文化財保護を行っているのはローカルアクターである。そのコミュニティーや地方自治体がこの国際的な制度にどのようにかかわっているのかを分析しながら、現状の国際制度を見ることで、世界遺産条約のもとどのように文化財が保全されているのかを分析している。特に、この分野を先進してきたヨーロッパとは違うアプローチで長らく独自の文化財保護を実施しているメキシコや日本の事例を研究している。

博士課程修了後は実際に文化財を保護するための制度作りやプロジェクトに携わりたい。これまで国際機関や国家機関でインターンや仕事をしながら、効果的な文化財保護の実現方法を模索してきた。メキシコに留学した際にはローカルコミュニティと地方自治体が連携して荒廃した歴史地区を改善している姿を目の当たりにした。できるだけ地域に根差したアプローチを実践し、国家や国際機関の政策に反映させるような役割を果たしたいと考えている。

一般奨学生

インド人 IT 技術者の海外就労と仮想就労の構造的連関 —米国就労者の二面性システムの検討—



一橋大学大学院 社会学研究科
修士課程2年

赤瀬 歩

インドは、米国との IT 産業における経済関係において発展させてきた、仮想就労（母国に生活環境を留めながら仮想的に海外就労に従事する）の拡大と、海外就労の促進戦略によって、長期的な母国への頭脳還流を促進することにより、母国の経済社会的発展を目指している国家です。

本研究では、21世紀型の国際移動の変容、そして国際的

な IT 産業界に広がる新たな兆候であるインド国内で海外向け「仮想就労」に従事するインド人 IT 技術者の経験を通して、トランプ政権によるビザの厳格化が進む中、米国内の就労者と彼らとの相互連関的構造の実態、および技術者の2面性についても明らかにしていきます。

インドと米国間の労働力や知識の還流の仕組みと促進のメカニズムに取り巻かれる IT 技術者の社会的適合性に関する考察は、仮想就労を通して高度人材の労働サービスを提供する他の送出国にとっても、母国開発を前提とした循環型移民政策の意義を問い直すための参考研究となるでしょう。また、今後インドからの高度人材受け入れが拡大すると予想される日本の高度人材の研究分野においても、高度人材に関する課題の把握と適切な施策を検討する上で、これまでの米国社会におけるインド人 IT 技術者の就労環境の特性を理解する貢献となることを期待しています。

私自身は将来のキャリアとして、アジアの途上国の IT 産業・社会・公共事業における開発プロジェクトの地域社会的影響を分析・評価・提言する社会学者・開発コンサルタントを目指しています。

カルマン症候群の発症メカニズム解明への生化学的解析

琉球大学大学院 医学研究科
博士課程2年

澳津志帆



女性の性成熟や性周期には、下垂体前葉細胞から産生・分泌される二種類の性腺刺激ホルモンが重要である。この性腺刺激ホルモンの産生・分泌は、視床下部により支配されている。カルマン症候群は、視床下部からの性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）の分泌障害により生ずる二次性徴の欠如と無嗅症または低嗅症を伴う症候群である。GnRH を分泌する神経細胞は、発生初期に間脳の嗅板から視床下部へと遊走する。カルマン症候群は神経細胞の遊走異常が原因とされているが、嗅覚異常を伴うことから嗅板の異常による可能性も考えられる。本症候群の効果的な治療法はまだ確立されていない。私は、培養細胞とモデル生物であるゼブラフィッシュを用いてカルマン症候群の発症メカニズムを分子レベルで解明することを目標に研究を続けている。これまでに培養神経細胞を用いて、GnRH の産生調節の鍵となるタンパク質について研究してきた。そして、CaM キナーゼ II および Pyk2 と呼ばれる2つのタンパク質が重要であることを見出した。今後はゼブラフィッシュを用いて、両タンパク質の遺伝子発現を抑制させ、神経細胞の遊走と性成熟へのそれぞれのタンパク質の関与を検討する予定である。

将来は、自身の研究をカルマン症候群のみならず、不妊症や性ホルモン依存性の癌に対する新しい治療法や創薬の開発につなげたい。また、これからの日本の研究を支えていく女子学生のロールモデルを目指したい。

レヴィナスにおける後期倫理思想「身代わり」論の解明

東北大学 情報科学研究科
博士後期課程3年



加賀谷 昭子

私が主に研究対象にしているのは、1933年フランスに帰化したロシア系ユダヤ人哲学者、エマニュエル・レヴィナスである。彼の思想を一言で言うなら、西洋哲学では異端とされた「他性」の解明を考察の中心に据え、「他者」とは何か、という問題を徹底的に掘り下げ、それをひとつの倫理哲学にまとめ上げた、ということができよう。その機縁となったのは、二度の世界大戦、捕虜体験といった想像を絶する困難な体験を抜きに語ることはできない。私がこの哲学者を研究対象として選択したのは、東日本大震災を経験した私たちにとって彼の思想が震災後の日本に寄与すると考えたからである。

しかしながら、レヴィナスが上記のような他性の哲学者だという一般的理解と裏腹に、その核になっている彼の重要な後期倫理思想「身代わり」論は、実は日本においてはもちろん、本国フランスにおいてさえもその実態が明確にされていないのが現状である。私はこのことが、レヴィナスが前期倫理思想を練り上げる上で、特別な地位を与えた倫理的 Cresse (愛撫) の解明が十分になされていない一因だと考えている。レヴィナスがなぜこのような皮膚感覚における倫理にことさら注目したのか、これを明確にするために、未だ先行研究がない触覚科学からの新見地もレヴィナス研究に取り入れ、レヴィナスの究極の倫理が「身代わり」論に行き着いた理由を解明することを目指す。

しかしながら、レヴィナスが上記のような他性の哲学者だという一般的理解と裏腹に、その核になっている彼の重要な後期倫理思想「身代わり」論は、実は日本においてはもちろん、本国フランスにおいてさえもその実態が明確にされていないのが現状である。私はこのことが、レヴィナスが前期倫理思想を練り上げる上で、特別な地位を与えた倫理的 Cresse (愛撫) の解明が十分になされていない一因だと考えている。レヴィナスがなぜこのような皮膚感覚における倫理にことさら注目したのか、これを明確にするために、未だ先行研究がない触覚科学からの新見地もレヴィナス研究に取り入れ、レヴィナスの究極の倫理が「身代わり」論に行き着いた理由を解明することを目指す。

日本浪漫主義研究

一北村透谷の自由・自然・生命観を中心に

東京外国語大学大学院
総合国際学研究所 博士後期課程5年



陳 璐

江戸時代まで東洋文化を受容し続けてきた日本は、明治維新の開国により急激に西洋化した為、東西両文化の混在は、それ以後の大きな問題となった。

私はそうした文化的多元性と思想的多層性を、明治時代の浪漫主義文学の代表的作家である北村透谷に焦点を当てて考察する。

透谷の思想の独自性は、東洋と西洋の思想的混在という時代背景と、彼自身による東西文化・思想の取捨選択という個の経験によって形成された。そこで本研究では、東西両文脈を交差させる思想という視点から、透谷の全体像の基底にある自由・自然・生命という三つの相関しあう系列的な概念を考察し、東西両文脈が流動的に変容し融合した透谷の思想体系を系統的に明らかにすることを試みる。

またこの三つの概念と関連する同時代の思想家や言論を比較しつつ、明治浪漫主義思想に属する透谷の言論が、同時代の思想と如何なる対立関係を持ったのかを探求し、そのことを通じて透谷を明治文学史・思想史に再定位したい。

また博士号取得後、私は教員という立場から日中両国の文化のキャップを埋め、そして日本研究の国際化に力を注ぎたい。教育と研究の両面で努力し続け、世界への発信と国際的な交流を重視し、これからも国際学会での発表や、多言語による研究成果の公開等に力を注ぎたい。

日本周辺域の海底変動地形の認定と海底地すべりの空間分布特性の考察

岡山大学大学院 自然科学研究科
博士後期課程1年



森木 ひかる

日本列島の周辺には4つのプレートの境界が分布しており、それに沿って地震活動が活発である。そのため、今後の地震被害の軽減のための基礎データ取得の立場から、海底下で発生する地震の源である海底活断層や地震に伴伴する海底地すべりなど、海底変動地形の特性の把握が重要である。そこで、本研究では、(1) 変動地形から推定された海底活断層についてその確実度を評価、(2) 海底地すべりを判読して、さらに、その分布特性について素因と誘因を分離して分析することを目指している。

具体的には、上記の(1)の作業では、南海トラフ・駿河トラフと日本海溝で変動地形から推定された海底活断層について、海洋研究開発機構が公開する地殻構造探査データベースの反射断面図と比較を行って、約380地点の確実度を検討した。また、(2)の作業では、地形を立体視可能な画像を用いて、まず海底地すべりを4000以上判読した。次に、海底地すべりの発生以前の地形を復元して、素因として地形の傾斜量分布を分析した。さらに、誘因として、海底地すべりと海底活断層の位置関係を空間統計学的手法を応用して検討し、両者に有意な相関を得た。

私の出身の高知県では、近い将来、南海トラフでの地震によって、地震動や津波による深刻な被害が想定されている。私がこの研究テーマを選んだ理由は、防災対策につながる地震・津波の予測に資する成果を挙げるためであり、今後もこれまで以上の努力を継続したい。

安井医学奨学生

脳性麻痺への新たな治療を目指した早産児脳障害モデルの網羅的代謝解析

大阪市立大学大学院 医学研究科
発達小児医学 博士課程4年



田中 えみ

新生児医療の進歩に伴いこれまで救命し得なかった超早産児も生存できるようになった現在、早産児脳障害による脳性麻痺や発達障害の治療と予防は大きな課題である。私たちは正期産児脳障害モデルでの細胞治療の有効性を報告してきたが、早産児脳障害へも有望な治療が望まれる。

本研究では、正期産児および早産児の脳障害モデルマウスにおける代謝病態を比較する。それによって早産児脳の強みと脆弱性、発達段階の神経細胞がどのように影響されるのかの違いを理解し、最適な治療へ繋げることを目的とする。具体的には、(1) 早産児脳障害モデルにおいて脳性麻痺症状がどのように発現するのか観察すること、(2) 脳障害24時間後の脳で質量分析の手法を用いて網羅的メタボローム解析を行うことで、早産児/正期産児脳障害の代謝を理解することである。代謝病態の違いを知ることで、有効な治療法のない早産児脳障害への治療ターゲットを抽出することが期待される。

新生児医療の現場で超早産児の管理の困難や、後遺症を抱えた児と家族の負担に直面し、有望な治療につながる研究の必要性を感じている。本研究を基盤として、視野の広い医療人として社会に貢献できるよう、また後進を指導出来るようになりたい。

社会福祉奨学生

聴覚障害児が環境音学習を行える環境づくりに関する研究



筑波技術大学 技術科学研究科
修士課程2年

加藤 優

環境音とは生活の中で生じる音であり、危険回避や暮らしの心地よさを感じるヒントを私たちに与えてくれる。健聴者は無意識のうちに環境音を聴取できることにに対し、聴覚障害者は聴取経験が少ないため環境音を認識できないことがある。しかし環境音は都合よく発生しないので、聴取経験を十分に積むことは困難である。このような背景により、聴覚障害の当事者として聴覚障害児が環境音を集中的に学習する場が必要だと考え、学習効果を上げるために聴覚と視覚の感覚を両方活用する学習方法について研究している。

ろう教育現場においては、聴覚障害に特有な学習として言語的な学習に注力されてきたが、環境音認知のような非言語音の学習にはあまり時間を使ってこなかったのが現状である。そのため、本研究で制作する環境音学習システムは教育的に新しい試みであり、実際に聴覚障害児が活用することを目標としている。また将来は、聴覚障害のある女性工学系研究者として、自分の聴覚障害の経験を生かして専門分野を「ICTを用いたろう教育の教材開発」として研究活動をしたいと考えている。

「社会的弱者」を減らすために



国際基督教大学
教養学部3年

稲岡 紗也

私は現在国際基督教大学で、入学前から決めていた教職過程の履修に加え、日本語を母語としない人に日本語を教える、日本語教員養成課程も履修

しています。そのため大学入学後の二年間は言語教育を中心として学んできました。しかしながら、一昨年の事故による一連の経験を通し、私の学問に対する関心は大きく変わりました。

一年間の休学を経て今年度から大学に復学してからは、教育学を中心に学び始めました。交通事故により、私は今現在も車椅子での生活を送っています。その事故により、今までの生活が一変することになりましたが、そのような経験をしたからこそ得たものはたくさんあります。何よりも、健常者として生活していた時には見えていなかった問題に気付くことができました。自分が生活している環境だけに集中するのではなく、自分の周りに目を向けてこそ、問題に気付くことができるのだということを身をもって実感させられました。

私はこの経験を通して、障害者が抱える問題について少しながら知ることができましたが、形は違っても、世界には社会的に弱い立場に立ち、困難に向き合っている人が多くいるはずで。私は今後の学生生活で、そのような問題についての知識を身につけたいと思います。そして将来的には、私が経験したことや学んだことが、一人でも多くの「社会的弱者」と呼ばれる人を救うことになれば良いと考えています。

視覚障害音楽家として活動するために



国立音楽大学 音楽学部
演奏・創作学科2年

藤吉 乙羽

私は現在、ピアノを専攻として音楽を学んでいます。専攻の実技レッスンでは、各時代に適した奏法や表現方法、身体の使い方などを研究、習得し、レパートリーの拡大に向けて取り組んでいます。その他の授業では、形式や和音、楽器の歴史などから楽曲を分析する方法や、アンサンブルの方法などを学んだりしています。また、教員免許状取得のための科目も履修しています。

将来は、一人の音楽家として、たくさんの人々に音楽を届けて行きたいです。そのために、様々な音楽作品に取り組む中で、自分自身の演奏上の課題と向き合い、コンサートやコンクールでたくさんの演奏経験を積んで、さらにピアノを深めたいと考えています。

また、視覚障害者の音楽教育や点字楽譜について研究し、視覚障害者がもっと気楽に、そして自分の力で音楽と関わることのできる方法を作っていきたいです。たとえば、その方法の一つに、点字楽譜の普及があると考えています。現在日本では、点字楽譜のユーザーも指導者もとても少ないのが現状で、私自身も、中学生までは独学で読み書きを学びました。視覚障害者も自分で楽譜を読めるようになれば、もっと積極的に様々な音楽を演奏でき、音楽の楽しみが広がると考えています。

これからも音楽と真摯に向き合い、音楽の様々な側面や可能性について考えながら、演奏家、教育者として活動できる知識と技術を身に付けていきたいと思っています。

第17回 自然科学講演会報告
データと血流シミュレーションが拓く予測医療の最前線

東京大学生産技術研究所及び大学院情報学環 教授
大島まり子

(2002年守田科学奨励賞受賞者)

2018年12月15日(土) お茶の水女子大学にて
共催：科学研究奨励委員会、東京支部、お茶の水女子大学

第17回自然科学講演会は、東京大学生産技術研究所教授の大島まり子氏を講師に招いて、12月15日にお茶の水女子大学理学部大講義室にて開催された。



もともと機械工学で原子炉を対象とした流体の計算機シミュレーションを専門としておられたが、医学分野との共同研究という形で、脳内血流のシミュレーションへと研究を展開された。日本人の死因トップ3の一つである循環器系疾患については、最近医療の進歩によって、詳細なMRI画像やCT画像のデータが集められるようになると同時に、カテーテルを使ったステント留置手術によって、体に負担のかからない治療が可能になってきた。一方で、これらの画像データから手術後の血流の方向や量が予測できるわけではない。ここで個人個人の画像データに基づく血流の計算シミュレーションが威力を発揮する。ときには、手術後、急に血流がよくなったことで脳内出血が起きることもあり、これを回避するためには、何段階かにわけて血管を広げていくという方法がとられるという。このように、血流の予測は、適切な治療のために大変重要である。

同じ流体シミュレーションでも、(機械相手の場合と違って)生体の場合には、血管の弾性や形状の複雑さ、流れる血液成分と管との相互作用など、考慮すべきパラメータは多岐にわたり、より高度な計算が必要とされると思われる。だからこそ、この研究は、流体力学の応用分野として新天地が拓かれていく予感や希望を大いに抱かせてくれるものである。

会場には男性を含め多くの聴衆が集まり、活発に質問がなされた。このテーマについての関心の高さを示すものである。最後に、東大生産技術研究所が実施している小・中・高校生対象の未来の科学技術者養成プログラムの紹介があり、大島氏の活動の幅の広さに一同感服した次第である。

(科学研究奨励委員会 田島 節子)



大学における障害学生支援実態の見学

社会福祉委員長 桑折美子

社会福祉委員会は、大学における障害学生支援の実態を知るために2017年度ホームズ奨学生木下佳奈さんの案内により、2018年12月7日、主として肢体不自由のある学生への配慮の視点で、東京外国語大学構内を見学した。

2000年に北区から移転した府中キャンパスは開放的で明るく、建物内外のバリアフリー構造にまず目を見張ったが、教室間移動の際の通路の幅の広さや床の材質、多目的トイレの整備等、設備面での車椅子に配慮された対応が随所に見受けられた。加えて各種支援相談体制も充実しており、恵まれた環境で積極的に研究生活に取り組みされている木下さんの様子を伺い知ることができた。

2016年4月施行の「障害者差別解消法」に則り、大学においてもこれまで以上に障害学生支援の徹底化が求められてきている。東京外国語大学でも「障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」に基づき、教職員は個々の障害学生に対してその状況に応じた教育上の配慮を提供している。以前、木下さんから言われた「公的支援はもとより人的な配慮に助けられる」という言葉どおり、構内を一緒に行動してみると、様々な局面で教職員や学生からのさり気ないサポートが不可欠であることに気づく。

今回の見学会を通して、障害のある学生が安心して大学生活を送るためには、設備面や制度面での支援のみならず、周りの一人一人の心理的バリアフリー化がいかに大切



多目的トイレ個室



鏡の向き(傾斜)が車椅子対応

か、またそれが結果的に一人も取り残さない共生社会の実現に繋がっていくことを改めて強く感じた。



一生に一度の幸運
GWI100周年大会
参加呼びかけ

GWI(旧:IFUW)が誕生して100年目の今年、7月に本部のあるスイスはジュネーブで、記念大会が開催される。人生100歳時代とは言え、この100周年に世界大学女性連盟の会員として生存し参加の機会に与えることは幸運中の幸運であろう。この記念すべき場に、思いを同じくする女性たちがより多く集えるよう参加登録の早期割引期間が4月末日までに延期された。

併せて、大学女性協会では国際会議参加支援制度を適用

身近に感じたスウェーデン ～ 外交関係樹立150周年を記念して

11月5日、豊洲シビックセンターホールにて日本・スウェーデン外交関係樹立150周年コンサートが開催された。

両国の友好を願い、日瑞音楽交流基金、大学女性協会、古川泰子音楽事務所の3者の共催、スウェーデン大使館後援という国際色豊かな記念コンサートとなった。

冒頭、鷺見八重子会長の挨拶の後、ご臨席いただいた駐日スウェーデン大使マグヌス・ローバック氏のスピーチ(通訳穂田信子会員)は、両国の歴史と外交関係をユーモアを交えて話し、また、大学女性協会を讃え「皆さん、ぜひ入会しましょう」と座を沸かせ、和やかなスタートとなった。

このコンサートは、三木谷節子会員の在スウェーデンの友人、日瑞交流基金理事長の加勢園子氏が来日の際、ピアニストの古川泰子氏の音色に感動し、スウェーデンの音楽家3名とのジョイントコンサートを提案、1年以上前よりミーティングを重ね、3者の共催が実現したのだ。

当日、満員となった300席収容のホールは、大多数が初めて聞くスウェーデンの曲と、古川氏が選んだ「ちいさい秋見つけた」「通りゃんせ」などの日本古典の歌に静謐さと穏やかさの共通点を感じ取った。また、同じ北欧の作曲家グリークの「春に寄す」などの2曲も雰囲気にもマッチしていた。

何よりもスウェーデンの3名の音楽家、若きピアニスト、クリストフェルはベツェションの「フレーセの花」から8曲をはじめ熱く演奏し、ソプラノのヘレーナは、高く美しく、時にたくましい歌声で歌い上げ、ギターのカニエルも難しい合奏を演じ切った。スウェーデン語の歌が次第に耳に馴染んできたのも珍しい経験だった。

今回の音楽会は実に多くの人々の協力と、準備期間を経

て実現した。翌日のスウェーデン人16名参加のフェアウェルパーティでは、前日の緊張感から解放された演奏者は笑顔に溢れ、音楽は世界共通の楽しみであることを実感した。

(文化事業委員会 佐々木澄子)

スウェーデン王国大使館訪問とランチ

2018年12月13日(木)参加者32名でスウェーデン王国大使館を訪問し、その後ホテルオークラ東京「カメラ」のランチを楽しんだ。

2018年は日瑞外交関係樹立150周年の記念の年。大使館は200件近くのイベントで大忙しだったと思う。そんな中、JAUWの3つの事業委員会の内、文化(事委)が日瑞記念音楽会を開催、収益(事委)が大使館を訪問した。

東京メトロ南北線六本木1丁目駅中央改札を出て5分ほどで赤いゲートに着く。大使館は建築家のミカエル・グラニートの設計により1991年に落成したものだ。玄関に入り、スウェーデン作家によるガラスの作品が展示されているホールの先に、北欧らしい木の香りのするアルフレッド・ノーベル・オーデトリウムがある。

ここで、広報補佐の速水 望さんのパワーポイントを使ったお国の紹介があった。見学者は、私達と修学旅行でこの訪問コースを選んだという宮崎県の高中生達。階段席からは興味深く鋭い質問が続いた。楽しいひと時であった。いつもご参加くださる会員外のサポーターの皆様にも感謝!

(収益事業委員会 松崎和子)



し、若手参加者を公募・選考により支援することになっている。会期中のプログラムは概ね次のようである。

7/25：開会・歓迎行事、UNESCO ジェンダー平等局長講演

7/26：国連貿易開発会議・世界貿易会議代表対談、ユースワークショップ

7/27：ワークショップ、セミナー発表、スイスのタブ

7/28：GWI デー、閉会

国連女性の地位委員会事前勉強会へ多くの若手が参加

平成最後の国連女性の地位委員会(UN CSW)が2019年3月11日～22日第63回目としてニューヨークで開催される。CSW自体は誕生して74年目を迎え、今年の優先テーマは「ジェンダー平等と女性と女児のエンパワメントのための

社会保護制度、公共サービスへのアクセス、持続可能なインフラストラクチャー」、レビューテーマは「女性のエンパワメントと持続可能な開発の関連性(第60回合意結論)」で、女性の地位を社会の制度や世界の開発の在り方と合わせて検討される動きが定着してきた。

JAUWでは、12月23日事前勉強会を開催し、経験豊富な城倉理事によるCSWリテラシー入門となる開会の言葉。続いて参加者2人:筆者と若手支援の長谷川舞さんが、それぞれCSWの歴史と、自身の関心から捉えるCSW63の課題について発表した。クリスマス時期にもかかわらず他の団体からの参加を得、若者が三分の一を占め活気づけられた。

鈴木千鶴子(国際担当理事)



支援事業を終えて

東日本大震災災害地支援事業・特設委員会



委員長 高田 武子

2011年3・11という東日本大震災、この未曾有の出来事を目にした私たちは「何が出来るか」という中で、義務教育と高専・大学の間で、支援が薄い高校生に視点を向け、高校卒業後も更に進学する生徒には2年間の支援延長という画期的な高校生奨学金の提案を、当時の阿部幸子副会長から出され、理事会は即時賛同し取り組みました。資金は本部会計から150万円、奨学金のための寄付を集める努力をし、一人でも多くの生徒を支援できる様にと、支部・会員・知人・グループ・団体に呼びかけ、またIFUW（GWI）からも支援金が届きました。

これは奨学生に大きな福音をもたらすことになり、当初3年間の募集から5年間に延長、その結果20名の生徒の支援ができたことは、皆様の大きなご支援のお蔭でした。

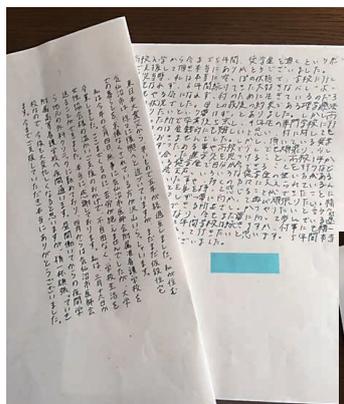
8年間の支援の中で、心に残る出来事がありました。

①はトルコの会員から、「孤児になった子供たちを受け入れ、育てたい」という申し出でした。特設委員会・宮城県教育委員会奨学生担当者にも連絡し、総合的な判断で断念しましたが、申し出に深い感動が残りました。②は支援終了の奨学生からの感謝の手紙でした。月1万円の支援がどんなに彼らの心・モチベーションを支えるに至ったか、を知らされた文面でした。③は先日この支援の終了に際して、簡単な追跡調査をした際、ある高等看護学校の事務局長から突然の電話を受け、「うちの学生から、大学女性協会の高中生奨学金支援を知り、この様な素晴らしい奨学金を頂いていたことに心から感謝します。大学女性協会の名前も知りませんでした。素晴らしい団体ですね。長い間大変お世話になり、本当に有難うございました」との言葉でした。電話を置き、私は、この事業に関わったこと、JAUWの素敵な仲間たちがいたことを有難く感じながら、奨学生たちの今後の成長と活躍とを陰ながら応援をしてゆきたいと思っています。

皆様、本当に有難うございました。

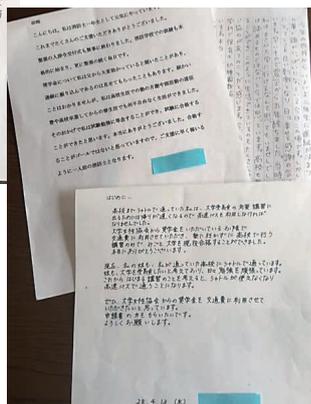
特設委員会：

高田武子、中山正子、森川淳子、城倉純子、宮下好子、田辺光子、柏木京子、鈴川佳子、中村礼子、江原孔江



破壊、喪失、悲しみ、絶望を乗り越えて、「支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、夢に向かい全力投球していきたいと思えます。」と奨学生から届いた数々のメッセージ

励ますはずの私たちが励まされました。高校卒業までと進学後の2年間で応援した5年間に亘る被災地支援事業が、奨学生の皆さんの生き抜く力の一助となることを願って……



ラストコンサートにみる東北支援活動の軌跡と未来

あの震災から8年が経過した今年、求道会館でラストコンサートが開催された。世界で活躍する国内外の若き音楽家によって結成された Quartet Berlin Tokyoの演奏は、力強くも優しく響き、聴衆の心に染み入った。



震災当初、当委員会は被災地を視察訪問し、東北の美しい自然とは対照的な悲惨な被災の現実に絶句し、足元が崩れるような衝撃を受けた。初めに演奏されたバッハの「未完成のフーガ」の唐突な幕切れは、その衝撃を思い出させ、突然津波に人生を、家族を奪われてしまった方々の哀しみを想起させるものであった。しかし、演奏がシューベルトの弦楽四重奏曲第15番に移ると、我々は今日の被災地に、力強い希望があることに思いをきたした。病弱で自らに残された時間が長くないことを悟っていたシューベルトが、困難の中にあっても希望の灯を絶やさず、最後の瞬間まで音楽に身を捧げる、その翳やかで力強い調べに、我々もまた鼓舞される思いがした。

被災地の復興ははまだ道半ばである。しかし、本協会の被災地支援事業が、確かに未来への希望を繋ぐものであったことを確信した一日となった。

(宮下好子・宮下摩維子)

全国の支部による奨学事業

(広報委員会調べ
2019年1月現在)

JAUWの国内奨学金事業は学生の応募書類を支部が選考するところから始まると言えましょう。一方で全国には独自に奨学事業を行っている支部があります。今回、広報委員会ではメールアンケートを実施し、金銭的支援を含む各支部の奨学事業をご紹介しますと考えました。本年1月末までに頂戴したご回答を整理した結果は以下のとおりです。多様な工夫、地道な努力を感じることができました。

支部	奨学事業の主旨／概要	支援額ほか*資金の出所	開始年／支援人数
札幌	国内奨学金応募者で選に漏れた方から一定数の学生を役員全員で選出する。支部新年会に招き、札幌支部奨学生贈呈式を行う	金一封を贈呈し研究内容を聞き歓談 *公益目的資金を利用	2012年 ／14人
秋田	県内養護施設の女生徒で高校に進学する者	毎年1人42年間 *年会費から予算化して捻出	1965年頃～2007年 ／42人
	県内バングラデシュ支援団体バニヤンツリーを通じて：バングラデシュ農村アビシャルの女子生徒へ	毎年2人を5年間＋毎年4人を5年間 *同上	2008年～2017年 ／30人
新潟	新潟支部奨学賞 ：論文審査を実施し、毎年数名に表彰状と奨学金を授与。2012年度から課題テーマについての論文審査となる。2019年で70回目の授与式を迎える	奨学金5万円 *これまでの会員、企業様からの寄付、チャリティーコンサートの実施等による	1950年 ／966人
	新潟支部国際奨学賞 ：新潟国際ボランティア・センターが行う奨学金事業に加わり、紹介された学生の中から、経済状況や成績、人物所見などを勘案して採用し、卒業まで支援する	現地の学費高騰のため支援額を変更し、2019年度からは年額3万円を隔年1人ずつの採用となる *同上	1999年 ／実数60人
栃木	栃木支部奨励賞 ：県下の高校に赴きJAUWの紹介をし、推薦いただいた有為な女子生徒に奨学金を贈呈した	毎年5人～2人、2018年度は1人、5万円 *音楽会、ダンスパーティ等の収益金	1949年～2018年
東京	東京支部国内奨学金（通称チャレンジ奨学金） ：2年以上の就労経験後に大学で学ぶ3年生1名（女性）を支援	奨学金20万円 *社団法人であった時から引き継いだ残金より	2012年 ／7人
	本部国内奨学金への指定寄付：毎年10万円を拠出した	新法人移行により終了	1995～2011年
	東京支部国際奨学金 ：日本以外の国籍を持ち、その国の高等教育機関で学ぶ女性を選出し、正規の卒業まで支援。奨学生との交流も心掛ける	日本側の紹介者と奨学生が直接連絡できることが条件。年額4万円 *同上	2010年 ／毎年1～2人、実数5人
金沢	ドゥアン・プラティープ財団の教育里親事業へ寄付：タイの女子大学生対象に在籍期間中を保障。タイより学生の礼状、学業成績が窓口者に送られ、支部長に回送、会員が総会時回覧	近年は毎年3万5千円。卒業後は、タイの財団が次の人を紹介 *社団法人の時代から引き継いだ残金より	1990年 ／女子大学生8人 ほかに中退者数人
福井	ドゥアン・プラティープ財団の教育里親事業へ寄付：タイの小学生に卒業するまでの6年間、奨学金を授与。手紙やプレゼントを贈り交流を図る	奨学金年額1万2千円。卒業後はあらたな子どもを財団から紹介してもらう *支部会費から	2002年 ／毎年1人、実数3人
奈良	国内奨学金応募者を招待し、研究発表会と祝賀会を行う。本部選に漏れた方には奨励金を贈与する	奨励金1万円 *支部一般会計から支出	2010年（祝賀会はそれ以前から） ／奨励金贈呈者9人
神戸	国内奨学・支部奨学応募案内を県下22大学へ同時に行い、国内奨学の選に漏れた方を含む応募者を対象に後日「支部奨学選考会」を実施。選考会ではパワーポイントによる研究要旨の発表と選考委員（支部役員と奨学委員会）による質疑応答を課し、奨学金または奨励金授与者を選出する。選考結果は本人と大学へ郵送	支部奨学金と奨励金は1月ランチパーティの席上で贈呈、学生は5分程度の研究報告を発表する。奨学金は10万～3万円。奨励金は1万～5千円 *支部会費、バザー収益金、他	2009年 ／53人
福岡	アジアの子どもと女性教育基金の会に委託：会員がネパールに小学校を建設し寄付した（ハード面の支援）ことを受け、ソフト面の支援を行う	毎年1万円 *支部会費から	2004年頃
長崎	国内奨学金応募者を招待し、研究発表会と食事会を開催し、図書費を贈る	5千円のクオカード *支部会費から、食事代は参加者負担	2014年 ／11人

第21回大学女性協会 守田科学研究奨励賞贈呈式ご案内

第21回賞贈呈式および祝賀パーティーを開催いたしますので、多数ご出席いただきたくご案内申し上げます。

日時 2019年6月2日(日)
 贈呈式・受賞者講演 13時～14時30分
 守田科学研究奨励賞祝賀会 14時40分～16時
 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
 東京都千代田区九段北4-2-25
 TEL 03-3261-9921
 JR、東京メトロ、都営地下鉄「市ヶ谷駅」より徒歩3分
 会費 3000円 どうぞ奮ってご参加下さい。
 申込先 (一社)大学女性協会事務局
 TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889

委員会からの報告

文化交流委員会 委員長 建部 静代

2月24日(日)快晴。中国人留学生8名と「練馬区立大泉第六小学校児童との剣道による交流会」を実施しました。気合いの入った声が響く体育館では剣友会の先生方から、最初に礼について、次に形10通り、最後に留学生が防具をつけて打ち込むまでをご指導いただきました。第二部は家庭科室での「咖喱飯」とお汁粉の懇親会。留学生からの質問が飛びかい、ドア・プライズも配られ、和やかに友情が芽生えた交流の一日。参加者48名の盛会でした。

生涯学習委員会 委員長 嶋田 君枝

第2回Jカフェ「中国あれこれ(続)」終了
 2018年12月19日(水) / 講師: 江原孔江会員 / 本部会議室
 トライアルとして、長崎支部とSkype中継を行いました。今後、JカフェはSkype中継を致しますので、下記まで支部名と会員名を明記の上、お申込みください。
 jauw.shogaigakushu.iinkai@gmail.com

会員拡大委員会 委員長 森川 淳子

昨今支部においては会員減少、高齢化など深刻な問題に直面している。今年度は3つの支部で休部を検討しているとの相談があった。電話で、あるいは直接訪問し話し合いをした結果、今回は継続することになった。シンポジウムの翌日に本部事務局で6人の支部長、理事会・委員会から9人の出席のもと、個々の支部の問題、若手の会員を増やすことなど考える機会を持ったことは、大変有意義であった。

2020・2021年度役員選考委員会より

2020・2021年度の役員選考委員会が以下7名のメンバーで発足しました。
 委員長: 西村寿美子 副委員長: 長田満江 書記: 遠藤理枝 副書記: 鷲崎千春 中山律子・西田節子・市川知恵子
 2020年は役員改選の年度です。皆様には10月～11月に理事監事候補者推薦のための資料をお送りしますので、何卒熱意を以ってご推薦下さいますようお願い申し上げます。

理事会から

- ▶ 東日本大震災災害地支援事業特設委員会は2018年度をもって終了いたします。どうもありがとうございました。
- ▶ JAUW企画主催ツアー「第33回GWI国際会議ジュネーブ」への参加は3月31日締切です。奮ってご参加ください。

新入会員 理事会承認 2018年11月～2019年2月

東京支部 鳥養 映子	東京支部 長野 文子	東京支部 山下 順子
東京支部 劉 瑛	東京支部 馬 立栄	京都支部 辰馬 雅子
京都支部 西堀 和美	大阪支部 堀 美香	神戸支部 宮坂富佐子
岡山支部 中山智津子	熊本支部 緒方 時子	熊本支部 高敷 美代
福岡支部 川寄 若	長崎支部 国武 雅子	

コンサートのお知らせ 文化事業委員会

**「初夏のアフタヌーンコンサート
ソプラノ、フルート & ピアノのひととき」**

日時: 2019年6月21日(金) 午後2時開演
 場所: けやきホール(代々木上原古賀政男音楽博物館)
 チケット: 一般3,500円 学生2,000円(発売は4月以降)
 曲目: 瀧 廉太郎 荒城の月
 H・マンシーニ 「ティファニーで朝食を」より
 G・カッチーニ アヴェマリア ほか
 出演者: 公益財団法人アルカディア音楽芸術財団
 ソプラノ 寺本郁子
 フルート & プロデュース 中村八千代
 ピアノ 内田博世
 高瀬美紀子

☆神戸からの上京で、魅力的な演奏が楽しみです。
 詳細については、JAUW 事務所あるいはHPで。

観劇のお知らせ 収益事業委員会

- ・3月18日(月) 歌舞伎 於国立小劇場 完売
 演目: 元禄忠臣蔵 出演: 中村扇雀 尾上菊之助 他
 - 予告
 - ・6月27日(木) 能・狂言 於国立能楽堂 14:00開演
 解説 能楽のたのしみ
 狂言 文山立(ふみやまだち)
 能 船弁慶(ふなべんけい)
 - ・8月30日(金) 狂言と落語・講談 於国立能楽堂 18:30開演
 講談 天保水滸伝 笹川の花会 神田松鯉
 落語 狸 賽(たぬさい) 柳家花緑
 狂言 博奕十王(ばくちじゅうおう) 野村萬斎
- ※詳細は JAUW ホームページまたは事務局でご確認ください。

(一社)大学女性協会創立70周年記念募金のご報告 募金委員会

2018年11月1日～2019年1月31日
 寄付者人数: 42名、寄付金額: ¥405,000
 上記期間中の寄付者ご芳名(敬称略・支部別・五十音順)
 (仙台支部) 茂泉敦子 (茨城支部) 安藤隆子、長田満江、梶塚幸子 (東京支部) 井上久仁子、奥津成子、児林英子、酒葉美智子、建部静代、田中紀子、中村久瑠美、中山正子、中山律子、縄田真紀子、長谷川瑞穂、平川敦子、松村美枝子、望月浪江、森川淳子、柳澤実穂、矢鋪真澄 (神奈川支部) 板倉敬子、鷺見八重子、田中正子、房野桂 (新潟支部) 北村美江 (愛知支部) 内川久仁子、加藤いつみ、林依里子 (京都支部) 伊藤洋子、稲葉カヨ、久代佐智子 (神戸支部) 東條喜代子、山本道子 (奈良支部) 橋本慶子 (広島支部) 山手万知子 (福岡支部) 井上洋子 (長崎支部) 一瀬まり子、加納孝代 (大分支部) 井野邊陽子 (賛助会員) 高橋政春 (匿名希望) 1名

2016年11月～2019年1月31日
 寄付者延べ人数: 492名、寄付総額: ¥6,876,500

訂正とお詫び:
 会報265号に掲載した賛助会員高橋様のお名前に誤りがありました。高橋正信(誤)、正しくは、高橋政春様です。慎んで訂正しお詫び申し上げます。

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101
 電話 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889
 http://www.jauw.org E-mail: jauw@jauw.org
 発行人 鷲見 八重子 編集責任者 穂田 信子
 発行日 2018年3月5日